

決算の概要

令和元年度(平成31年度)

会計区分	歳入	歳出	差引
一般会計	569億9,449万5千円	548億3,966万9千円	21億5,482万6千円
特別会計	国民健康保険事業	153億8,029万2千円	2億2,482万2千円
	後期高齢者医療	37億7,893万2千円	2,918万2千円
	介護保険事業	125億7,344万円	2億4,661万1千円
	下水道事業	38億3,757万3千円	2億8,118万2千円

決算の審査から

決算特別委員会で行われた

一般会計の主な質疑

要旨

総括 柔軟な財政構造の構築

問 経常収支比率は96.8%で、財政構造の弾力性という意味では厳しい状況と言える。市民生活への影響はないのか。

答 財源不足には財政調整基金の繰入れ等に対応し、市民生活への影響や不利益が生じないよう堅実な財政運営ができたと捉えている。当市の財政構造は国の動向や社

歳入 徴収率の向上

問 滞納分の収納率が向上している。取組みの内容は。

答 滞納繰越調定額の削減に向けて継続的に取り組んできた結果だと捉えている。特に30年度と令和元年度は都の派遣制度を活用し、職員

歳入 納付方法の充実

問 納付方法の充実について検討した内容は何か。

答 クレジットカードによる納付を検討している。また、新型コロナウイルス感染症の影響により電子納付の需要も高まっており、スマートフォン決済の導入に向けた調整を進めている。

総務費 東京五輪・ホストタウンの認知度向上

問 啓発事業の内容と成果を伺う。

答 ポスターや横断幕を公共施設や駅等に掲示したほか、中国を連想させる配色の壁面用フィルムを多くの人が往来する場所に設置した。市民意識調査では、市が中国のホストタウンであるとの認知度が上がり、効果が得られたと考えている。



ホストタウン啓発ポスター

総務費 業務の自動化をスタート

問 A I O C R や R P A の導入による効果は伺う。

答 A I O C R と R P A の導入による業務の自動化を8業務で開始した。これにより、職員の業務時間が約622時間、関連する業務の見直しを

民生費 一般財源の割合

問 民生費全体に占める一般財源の金額と割合を伺う。

答 令和元年度は13億7,055万7,000円で、45.0%となっている。

民生費 社会福祉センターの管理運営

問 令和元年度から新たな指定管理者で運営された。初年度の実績と評価を伺う。

答 社会福祉センターは改修工事を行い、指定管理者によって運営された。福祉作業所では、再開後も12名の利用登録があり、仕事の提供や作業支援等を行った。また、集会施設を増室し227件の利用があった。その他、新規事業として就労サポートセンター、地域交流スペース、知的障害者余暇活動室の開設準備が進められ、利用者アンケートでも好意的な回答が多かった。新規事業開始に向けても新型コロナウイルス感染症拡大の影響で予定通りの開設とはならなかったが、着実に準備が進められたと評価している。

衛生費 子育て応援ギフトの配布

問 育児パッケージの事務執行等について監査委員から意見が付けられている。見解と今後の対応を伺う。

答 育児パッケージの購入経費は報償費で計上している。妊婦面接の

際に複数のデザインから選べるよう、事前に一定数を購入していたため、残余が生じていた。このことが報償費の運用方法として課題があると指摘されたものと捉えている。今後も妊婦一人一人に寄り添った支援を行い、配布方法、在庫管理、購入契約のあり方については見直すよう、検討している。



子育て応援ギフトの一例

衛生費 新生児聴覚検査の充実

問 受診率が96.7%と高くなった要因は何か。

答 妊婦面接で新生児の聴覚検査の意義を説明するほか、訪問事業の際にも未受診者へ受診勧奨を行った。また、医療機関と契約して生後90日まで受診期間を延長し、一人でも多くの子どもが検査を受けられるよう環境を整えてきたことが挙げられる。

農業費 都市農業の活性化支援

問 いちごの高設栽培システムとトマトの東京式養液栽培システムの成果と課題を伺う。

答 市内でいちごを本格的に栽培する農業者

商工費 インフルエンサーによる情報発信

問 中国人インフルエンサーによる市の魅力発信の効果と課題を伺う。

答 3人の在日中国人インフルエンサーが、11種類のSNSメディアで計24回の情報発信を行った。目標の30万を上回る815万ページビューがあり、市の認知度向上に効果があつたと捉えている。実際の誘客へいかにつながるかが課題である。

土木費 道路の維持管理

問 多くの道路補修費が執行されているが、市民要望に十分応えられたのか。

答 令和元年度は補正予算で倍増し、例年以上に補修工事を行うことができたが、まだ工事を待つ市民が多いため、今後も必要に応じて工事の機会を増やし、満足度の向上につなげたい。

土木費 河川の維持管理

問 近年の大雨や台風の影響で護岸改修が多くなる。改修工事の内容を伺う。

答 前川では玉石からコンクリートへの護岸

教育費 希望学級運営経費

問 様々な事情から、学校に行きたくても行けない、行かない子どももいる。機器の貸出を含めオンライン授業の検討を要望するが見解を伺う。

答 児童・生徒の状況を把握する中で対応は異なり、教員や学校組織だけでは限界があるため専門機関の力を借りた上で具体的に検討していくことが大切だと考えている。全く学校に足が向かない児童・生徒は、小学校6名、中学校12名と極めて少ない状況であり、関係機関が丁寧に対応してくれている。集団で学ぶことの意義を理解し、専門的な医療等との連携を図り、個々の状況に応じて対応していきたい。

教育費 学校における感染症への対応

問 新型コロナウイルス感染症の影響で年度末に一カ月の休校となった。子どもや保護者の不安にどう対応したか。

答 臨時休業の実施に当たって、児童・生徒の生活状況を把握し、個別の対応を図るとともに、学校から教育委員会への報告を求めて指導や助言等必要な支援を行った。

決算特別委員会委員

委員長 渡辺 英子
副委員長 土方 桂

委員

かみまち弓子 藤田まさみ 鈴木たつお 朝木 直子
下沢ゆきお 小林 美緒 清水あづさ 佐藤まさたか
白石えつ子 横尾たかお 山口 みよ 浅見みどり
志村 誠 木村 隆 小町 明夫 村山じゅん子
駒崎 高行 山田たか子 渡辺みのる さとう直子

